

# 一般社団法人江戸小噺つながりコーチング

HP : [https://peraichi.com/landing\\_pages/view/kobanashi888](https://peraichi.com/landing_pages/view/kobanashi888)

紹介動画を見る ▶

## 団体概要

- 1)活動の目的:江戸時代の心豊かなコミュニケーションと言葉遊びの有効性に気づいて、5秒から1~2分の江戸小噺と目に見えない想いをつなぐコーチングの双方を活用。不安に満ちてしまった社会の閉塞感を打開し、子ども達に心理的安心感を与えて本来の素直な主体性を引き出す一助にしたいと次世代への伝承を目指す。
  - 2)2013年8月「江戸小噺笑い広げ鯛」として設立。高齢者施設や学校ほか訪問ボランティア活動は、11年間累計500回。
  - 3)2021年法人化、一般社団法人江戸小噺つながりコーチングになる。
- ※江戸小噺:オチのある言葉遊び「お姉さん、粋だね」「かえりです」「剣道の稽古やってる?」「しない」~2,3分(短い落語)

## 支援対象

小学校(1~6学年)/中学校/その他:PTA・教職員研修等(研修:江戸小噺+コーチング付加も可能)

## 活動内容・活動状況

※江戸小噺は優しい言葉遊び文化の1つで、皆で楽しめる「場」ができます。その真髄はコーチングと同じでお互いの存在を受け入れ、安心して素直に感じた事を表現することを大切にします。授業は「小噺を教えて発表する」のではなく「どう役立つか?」の実践ワークを行い、自由な発想から日常でも使いこなせるような力がついていきます。

○「授業のコンセプト」面白くて、すぐに話せる授業体験が、文部省が推奨する非認知能力を育み育てます。

○提供できる授業 学校の授業へ出張訪問します。時間は45分~60分程度×2回を基本。1回でも伺います。

【国語】

- ①江戸小噺を高座(座布団に座って)やってみよう。大人の小噺を聞く+体験:資料を音読して、声を出し合い表現を楽しむ+江戸小噺かるた取り、江戸小噺体操等。『オプション授業』
- ②楽しい資料の江戸小噺を渡し、言葉あそびに慣れ親しみ「日常会話の中でどう使えるか、やってみよう」を広げていきます。ケース:AちゃんとBちゃんが喧嘩をしていたら、どの小噺を話してどんな風に伝えてみたい?など。実際にその場で発表してもらいながら発想を広げます。気づきの共有。

## 対応可能時期

日程が合えば、随時可能(月~土)

## 必要経費

団体紹介は ZOOM 無料。活動する際に謝金・交通費お願いします。

## 会場・定員・必要備品等

学校または指定の会場へ伺います。その他はお問合せください。

**期待される効果:**授業を通して、楽しさ驚き発見と小噺の笑いは日常会話の場の空気を変えることや笑える日本語の楽しさが心に残ります。クラスで面白がって数人話し始めると全体に広がります。日常コミュニケーションとして自由な自分の言葉に返還、グレードアップすると、会話の中で非認知能力が自然に高まります。さらに長い話や歴史に興味関心も広がります。

③ 沢山ある10秒小噺、例「ハトが何か落としたりよ」「ふ～ん」を使って、「それからどうした？」の続きを創作を楽しむ授業

④ 10秒小噺のオチ「おのまとペ」で小噺を創作する体験授業。例「大工さん、景気はどうか?」「トントンです」

⑤ 江戸の利他心が伝わる2分小噺を読んで学ぶ「心」の授業。

【社会歴史】江戸庶民の暮らしに触れて、小噺と一緒に楽しむ授業。

【研修等】

① 教員向け:ご要望を伺い、教員研修等を企画実施します。実際の授業の組み立てをします。授業の活用法とコーチングの視点、クラス経営に活かすアイデア等

② 半年単位での学校(学年)の中期的取り組み等も協力します。先生方の非認知能力も高まります。

③ PTA 主催の行事で江戸小噺。笑いの交流をする場の提供。

○ **最近の活動例** コロナ禍で起きている社会的不安から子ども達を守る授業を実施します。亜細亜大学ボランティア論講演会「ボランティアと江戸小噺の心」/一般対象「笑いで作るコミュニケーション講座(連続4回)」/三鷹市社会福祉協議会主催介護予防事業「江戸小噺体験講座(連続3回)」/高齢者訪問。

○ **長期他分野で見られた効果** 継続性があるとコミュニケーションの風通しが良くなり、日常の些細なことでの衝突が減ります。例:ある介護現場では、3か月に1度江戸小噺を体験する機会を1年半続け、職員も一緒に毎回全員が小噺を話したところ、表情が明るく笑いが増えて職場の人間関係が改善され、3年間離職者が出なかった事の本部表彰されました。

【二分線香小噺】

- 貝はすぐ採れたかい? ・あつさり。
- 傘、貸してよ。 ・カサない。
- 相一し豆腐頼んだのに: ・間違えて、モメンね。
- お坊さんですか? ・そうです。
- おかあちゃん、パンツ破れた。 ・またかい
- キリストの名前、知ってる? ・イエス。
- 剣道のけい、やこる? ・しない
- 鯛が釣れたよ。 ・そりや、めでたい。

小噺【四足】

- 六「おい八、お前さんは、何でも食うつて本当かい?」
- 八「ああ、四つ足ならなんでも食べるよ、牛、豚、馬、羊、らくだだって食っちゃうよ。」
- 六「ふん、だったら、こたつも四足だけじゃ食えるかい?」
- 八「まあ、食って食えねえ事はねえけど、あたるものは、食わねえんだ。」

資料提供 江戸小噺つなごうプロジェクト



江戸小噺の資料



中学部活のボランティア支援



東京都小学校児童文化研究会の公開授業と教員研修 2013年



担当者より一言

江戸小噺は人を傷つけない優しい笑いで、伝承された話はすぐ楽しい言葉遊びの世界に入れます。小噺を学校生活に活かして、子ども達の非認知能力を高め、心理的安心感を教師と子ども達にもたす授業の取り組みを始めてみませんか? 協力応援しながら、私達も子ども達のいい変化を楽しみにしています。